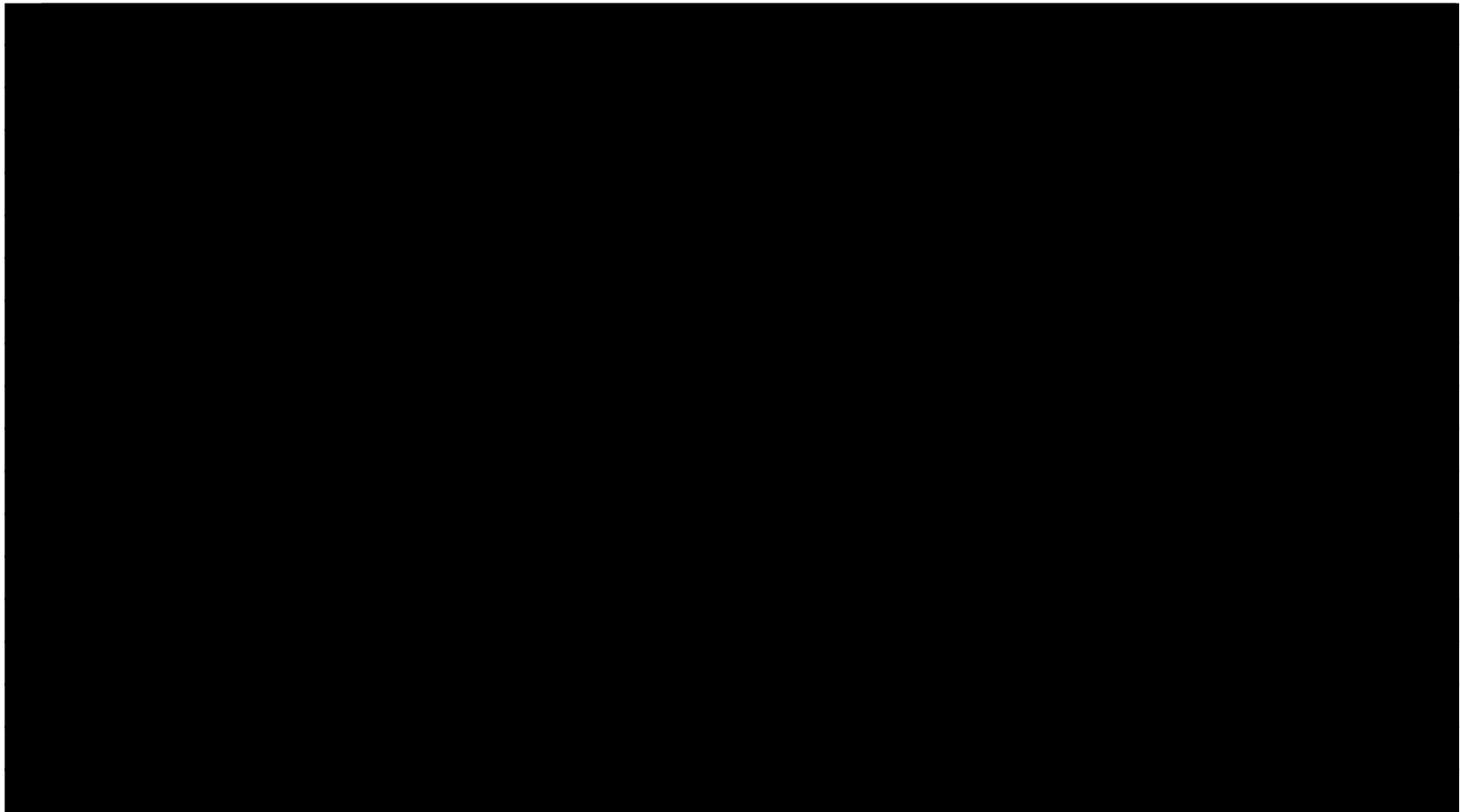


2026年度大学院博士前期課程一般入学試験（第Ⅰ期）問題

研 究 科 名	科 目 名
文学研究科 英文学専攻	専門的な英語問題（イギリス文学）

【問題】 次の英文は、イギリスにおけるロマン派の時代背景と文学的特徴について述べたものである。これを読んで、問1―問5に答えなさい。



【注】 fraternity 同胞愛、友愛
William Wordsworth ウィリアム・ワーズワス (1770-1850)
The Prelude 『序曲』 (1798-1805) Reign of Terror 恐怖政治
Coleridge サミュエル・テイラー・コールリッジ (1772-1834)
Lyrical Ballads 『抒情民謡集』

- 問 1 下線部 (1) を和訳しなさい。
- 問 2 下線部 (2) を和訳しなさい。
- 問 3 下線部 (3) を和訳しなさい。
- 問 4 下線部 (4) を和訳しなさい。
- 問 5 下線部 (5) を和訳しなさい。

出典：Ronald Carter, John McRae, *The Penguin Guide to English Literature: Britain and Ireland*. London: Penguin Books, 1996. pp. 103-04.

解答または解答例：

Answer Keys or Examples：

- 問 1 これは、フランス政治が変化した際に未来への希望を示したもので、ワーズワスのような多くの作家は、同じような変化がイギリスでも起こることを願っていた。
- 問 2 社会は変化し、町や都市が発展するにつれ、農業中心から工業中心へと移行していった。
- 問 3 政府は自由貿易を奨励し、新興の中間層は勢力を増し、選挙制度改革と民主主義の拡大に向けた動きが見られた。
- 問 4 文学において、ロマン主義（ロマン派）の作品は主に詩である。ワーズワスとコールリッジもまた革命を望んでいた。それは詩的言語とテーマにおいて、それ以前のオーガスタン時代とは対照的なものであった。
- 問 5 オーガスタン派にとって感情と想像力が危険なものであり、ロマン派にとって理性と知性が危険なものだった。

出題意図：

Intent of Questions：

本科目では、イギリス文学(とくにロマン主義文学)の成立背景と特徴を論じた英文を題材に、学術的な英語を正確に読解する力と、文脈・論理展開・語義・文構造を踏まえて適切な日本語に訳出する力を測る。あわせて、文学史・思想史に関わる基礎的な用語理解と、原文のニュアンスを損なわずに明確で自然な日本語表現にまとめる運用能力を評価する。